



つきぐみ

モンテッソーリのおしごとつうしん

モンテッソーリとは、創始者のマリア・モンテッソーリはイタリア人女性(医学博士・教育者)で、平和と子どもの生命の尊重を訴える運動を展開し、ノーベル賞の候補にあげられたり、イタリアのリラ紙幣に肖像が載ったりしました。

モンテッソーリ教育は100年以上前から行われている教育で、現在も欧米をはじめ、アジアやアフリカ、南アメリカ、オセアニアなど世界で一番広く行われている幼児教育です。子どもが持っている「自己成長力」を生かし、「自立」を促し、健全な精神の発達へと導く教育です。

モンテッソーリ教育は、日常生活の練習、感覚教育、数教育、言語教育、文化教育の5つの領域に分かれています。その中でも4月特に触れることの多い「日常生活の練習」のひとつをご紹介します。日常生活の練習とは、子どもが自立していくために様々な基本的な生活習慣を身に付けていきます。教具はひとつひとつが本物で、子どもサイズであり、とても魅力的なものです。大好きなお母さんが家で使うものもたくさん準備されています。

つき組で一番人気のおしごとはトントン大工さんです。お家や車を作ってピンをさし、トントンたたいています。ぬいとりは、本物の針(ししゅう針)を使って図案が書かれた紙をチクチクと縫い上げていきます。

「おしごと」の名前を覚えるのは大変ですが、毎日楽しく活動しています。

今年度は、園児から学ぶモンテッソーリ教育(子どもの育ち)と題して「クラスのおしごと紹介」とともに、モンテッソーリ通信をお届けしていきます。お楽しみに！！

次回は、「たいようぐみモンテッソーリおしごとつうしん」の予定です。





じゅうたんの巻き伸ばし



マジックテープを切る



ぬいとり (針と糸)



スプーンでうつす



あずきを注ぐ



大工しごと



たたく&はさむ



ピンクタワー



スプーンでうつす (小)



はめ込み円柱 (グループ)



年長見あこがれのカレンダー製作が始まりました。数字をよく見てじっくりと！

